

# 共生環境課程

農林業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農山村の生態系保全、歴史や文化を生かした地域づくりなどに加え、自然環境と人間の社会活動が共生できる「持続可能な地域社会実現」に貢献できる人材の育成をめざします。

## 共生環境学コース

### 学びの分野

#### 共生

環境共生社会論  
農業環境評価論

主に農山村における、人(地域・環境)と自然(野生動植物)と資源(景観・歴史・文化)の共生を図り、健全で持続的な地域社会作りをめざす人材を育成します。学習プログラムは、自然科学から社会科学まで幅広い科目を自由に選択でき、自分のめざす分野を納得できるまで学べるよう配慮されています。

## 森林科学コース

### 学びの分野

#### 森林

森林保全生態学  
森林造成学

森林の持つ多様な環境保全機能や循環型資源である木材の収穫と利用について、総合的かつ体系的に学習し、地球的視点と技術者として社会に対する責任感を持ち、人と自然の共生社会に貢献できる人材を育成します。充実した実験・実習が特徴で、講義による基礎知識の習得に加えて実践的な能力を養います。

## 農村環境デザイン学コース

### 学びの分野

#### 地域環境

農地整備学  
環境モデリング

農村地域の豊かな自然環境や美しい景観を守りながら、生産基盤ならびに生活環境の整備・保全を技術面からサポートできる人材をめざします。土と水の科学を基礎として、物質動態や生態系の仕組み、さらに施設の計画・設計まで、幅広い講義と実験・実習を通して、技術者としての素養を身に付けます。

## 学生の研究テーマ例

- 森林施業の有無が植生とノウサギの個体数に与える影響
- ニホンジカの増加と林床植生の消失に関する研究
- 繁殖北限域におけるサンバの食物動物としての昆虫の意義
- 土地利用変遷と市民の意識からみたウランパートル市における各地区の生活環境の特徴
- 水田開場整備における環境配慮施設の維持管理のあり方

### [卒業後の進路]

民間企業、官公庁、試験研究機関、農業団体、教員などへの就職、さらに大学院(修士・博士課程)への進学があります。

- 民間企業
- 官公庁(国・地方)、国公立の試験研究機関、農業団体
- 教員 ■ 大学院進学 ほか

## 学生の研究テーマ例

- スギ・落葉広葉樹混交林における広葉樹優勢木の分布と成長に影響する要因
- 樹木育成の場における種構成と緑葉色の多様性
- 地域の人々と創る地域防災力向上に向けた研究
- バックホウによる森林作業道の路体締固めの動的評価
- 各種バイオマス資材を原料とする硫酸リグニンの利用可能性

### [卒業後の進路]

4割近くが大学院(修士・博士課程)へ進学、その次に公務員という進路先が多くなっています。

- 民間企業
- 官公庁(国・地方)、国公立の試験研究機関、農業団体
- 大学院進学 ほか

## 学生の研究テーマ例

- 静的締固めを受けた土壌の通気係数とガス拡散係数の異方性について
- 農業農村地域の水利施設における水環境の保全・改善に関わる研究
- 取水環周辺堆砂のゲート流出によるフラッシュ現象の実態と成否限界に関する水理実験
- 熱輸送が関与する河川流出-融雪流出について
- 水中放電水の農業利用と副生成物の低減化手法の検討

### [卒業後の進路]

公務員や民間技術者として、農業農村整備のための調査・計画・設計・施工関連の仕事に就くことが想定されます。

- 民間企業
- 官公庁(国・地方)、国公立の試験研究機関、農業団体
- 教員 ■ 大学院進学 ほか

## 先輩からあなたへ

### 野生動物と人間の軋轢を解消し、共存を実現するために。

必修が少ないので、かなり自由度が高く、自分が学びたいこと、興味のある講義を履修しやすい共生環境学コースは、いろいろなことをやってみたい、大学生活の中で今後の将来を決めていきたいという人に適したコースではないでしょうか。私が興味を持っているのは野生動物管理学。これは、野生動物と人間の軋轢を解消し、共存を実現するための学問で、動物の生態や生息数などに関わる生物学的なデータベースの他に、人間側の都合や、農業などへの被害などに関係する社会学的データベースを複合的に扱います。野生動物の研究は学部の4年間で十分な内容を研究しきれないので、大学院へ進学してより詳しい研究に取り組みたいと思っています。



共生環境課程 共生環境学コース  
市川 颯太 さん(鹿児島県立屋久島高校出身)

## 先輩からあなたへ

### 樹木が持つ無限の可能性を伝える女性になりたい。

森林科学コースの一番の魅力は、大学の近くにある演習林に出かけるの講義や合宿など、五感で自然を感じることでできるフィールドワークの多いところです。また、コース全体にまとまりがあり、先輩・後輩のつながりが緊密で、先輩方は気軽に相談に応じてくれます。これまでの講義の中で興味を感じているのは、日本の人々に木の良さをどのように知ってもらおうかということ。樹木には無限の可能性があるので、いま日本の森林は放置されている状態にあります。どうしたらもっと日本の森林に注目してもらえるのか、そのための知識を磨き、林業を広めるために全力で輝ける、たくましい女性になりたいです。



共生環境課程 森林科学コース  
濱島 千恵 さん(岐阜県・麗澤学院高校出身)

## 先輩からあなたへ

### 理解しやすい講義と豊富な実習がこのコースの魅力。

農村が非常に身近な環境であったこと、震災後に農地再生の需要があり技術者が必要とされていることから、農村整備について学ぶことができ、公務員に進む人の多い農村環境デザイン学コースを選びました。物理系の科目など内容が難しいものは、学生の目線に立てて教えてくれますし、実習を通じて技術をしっかりと学ぶことができます。理解しやすい講義と測量実習などの豊富な実習はこのコースの大きな魅力だと感じています。これまでの講義で興味を持ったのは水資源論。出身地宮城県を流れる北上川や米どころ・新潟県を流れる信濃川について、水害予防や穀倉地帯づくりを目的とした先人たちの取り組みを知ることができ、とても興味深かったです。



共生環境課程 農村環境デザイン学コース  
菅原 立 さん(宮城県岩手県前橋高校出身)